

広報 かみおおつ

No.73

2015年3月3日発行

編集：五中地区市民委員会文化広報部

事務局：上大津公民館 土浦市手野町3252 TEL 828-1008

上大津村
土浦市

合併60周年を迎えて 活力ある地域づくり着々と!



合併六十周年記念事業を迎えて

事業実行委員長 田口 長八郎

上大津村・土浦市合併六十周年記念事業を実施するにあたり、五中地区市民委員会の各事業所の皆様には、深いご理解とご支援を戴き、関係各位の皆様に変更して衷心より感謝申し上げます。

上大津村は明治22年にできまして土浦市と合併するまで新治郡のひとつの村として65年間、その後土浦市と合併して60年になり、この程の慶事となりました。

近年の上大津は、国道354号線バイパス・木田余神立線の開通、神立駅西口地区の土地区画整理、土浦協同病院をおおつ野に誘致する等、第7次土浦市総合計画の成長エンジンとして土浦市の北の玄関に相応しいインフラを備えた地域になりつつあります。

六十周年を契機に上大津地域がより一層の成長飛躍をする様に共に「安心・安全のまちづくり」のために全員一丸となって手を取り合って行きましょう。この記念事業が、後世から見た場合に土浦市の目指す「協働のまちづくり」自助・共助・互助の範であることを祈念して、お祝いの言葉といたします。



中川市長より祝辞をいただく

60周年記念事業の概要

1. 第39回五中地区歩く会
2. 記念式典
3. 記念誌発行
4. 学校教育助成
 - ・土浦第五中学校
 - ・上大津東小学校
 - ・上大津西小学校
 - ・神立小学校
 - ・菅谷小学校
5. 上大津伝統芸能助成
 - ・田村囃子保存会
 - ・菅谷囃子保存会
 - ・沖宿囃子保存会
 - ・神立参伍囃子連
6. 土浦市民憲章垂れ幕 5棟



学校教育助成金目録贈呈



記念事業土浦市民憲章の垂れ幕が掲げられた土浦第五中学校校舎

余興



講談：神田昌味先生
“秀吉とそろり新左衛門”



落語：柳家小蝠師匠
“おおつごもり”



お囃子披露的一幕（神立参伍囃子）

上大津村・土浦市合併六十周年記念誌

かみおおつ

これからの展望

- 工業・農業・医療・環境
など融合
- 神立駅と周辺地域大改造
- 道路・公共交通を整備

上大津地区の歩み

1889 (明治22)	上大津村発足
95 (明治28)	神立駅開業
1957 (昭和32)	土浦～神立駅間定期バス運行
64 (昭和39)	神立工業団地造成
69 (昭和44)	北部神立地区に32社の工場を誘致
74 (昭和49)	国体道路開通
75 (昭和50)	神立小学校新設
78 (昭和53)	上大津公民館新館建設
79 (昭和54)	土浦第五中学校新校舎竣工
82 (昭和57)	茨城県立土浦湖北高等学校設立
86 (昭和61)	菅谷小学校新設
2000 (平成12)	市一般廃棄物最終処分場竣工 (白鳥町)
02 (平成14)	神立地区コミュニティーセンター開設
05 (平成17)	茨城県霞ヶ浦環境科学センター竣工
12 (平成24)	神立消防署耐震改修工事完了
15 (平成27)	おおつ野地区に土浦協同病院移転予定

土浦第五中学校の歴史

上天津中学校として開校

第二次世界大戦後の教育制度改革によって六・三制の新しい学制が施行されました。これに沿って、昭和二十二年五月三日、神立の仮校舎で開校式が行われ、新治郡上天津村立上天津中学校が開校しました。生徒数二百二十五名、教職員十名でのスタートでした。当時は、教科書も教室もなく、小学校の空き教室に間借りしたり、旧陸軍の兵舎を使ったりして学びました。

旧校舎落成と創立記念日の制定

昭和二十四年、現在の場所（手野町三二一八の一）に待望の中学校校舎が建てられることになり、同年三月三十一日、地鎮祭が行われました。校舎は木造平屋建てで、総工費は四百万円、四ヶ月の工期を経て完成し、九月七日に盛大な落成式が行われました。この日を祝し、九月七日が創立記念日と制定されました。

その後、生徒数の増加に伴って校舎が増築され、学校施設も整備されていきました。昭和二十五年には生

徒会が発足し、校内組織も徐々に整っていきました。

土浦第五中学校への改称

昭和二十九年十一月一日、上天津村が土浦市に合併したことにより、上天津中学校は、茨城県土浦市立土浦第五中学校と改称されました。

昭和三十二年十月十六日に挙行された十周年記念式典では、土浦第五中学校校歌が発表され、「自主・協同・奉仕」の校訓が校歌の中で歌われるようになりました。

生徒数の変遷と学校の躍動

生徒数二百二十五名で開校した後、翌年には三百名を超え、その後三百名〜五百名程度で増減しました。

昭和五十年代後半から六十年代初頭にかけて急激な生徒増加があり、昭和六十一年には七百三十二名となりピークを迎えました。その後少しずつ減少に転じ、五百名程度に安定して現在に至っています。

運動が盛んな学校となり、昭和五十年代には学校体育の指定研究に取り組んだり、駅伝やバスケットボールなど多くの運動部が戦績を残したりして、活気あふれる学校となっていました。

新校舎完成と育ちゆく叡智

昭和五十三年、新校舎が建設されることになり、三月十八日に着工、同年十一月二十一日に完成しました。鉄筋コンクリート三階建て、総工費は三億三千万円でした。

平成八年に開催された創立五十周年記念式典では、多くの卒業生や地域の方々より、本校生徒の限らない躍進を願って、ブロンズ像「育ちゆく叡智」が贈られました。

現在の土浦第五中学校

平成二十六年五月一日現在の生徒数は五百二十八名、普通学級十四、特別支援学級四。今年、教室にエアコンが設置されました。また、小中一貫教育・国語などの研究指定を受け、学力も向上しつつあります。体育祭や音楽祭などの学校行事に生徒がエネルギーを取り組み、部活動も盛んです。剣道部やテニス部は関東大会に進出しました。活気あふれる五中が今に引き継がれています。

（土浦第五中学校校長 茅場宏枝）



昭和24年9月に完成した旧校舎



現在の校舎とブロンズ像「育ちゆく叡智」



第25回
11月30日(日)

がんばっぺ
上大津

上大津公民館まつり



作品展



お囃子 (菅谷囃子)



健康体操 (福祉部)

模擬店

- やきそば (青少年育成部)
- カレーライス、ポッスコーン (かすみ会)
- 綿あめ (文化広報部)
- 野菜のてんぷら、赤飯、けんちん汁 (キャロットクラス)
- 健康料理試食 (食生活改善推進員)
- みそ田楽 (晴山苑)
- パン (尚恵学園) など



お楽しみ抽選会



マジック



売り切れ御免



編集後記

今号では、土浦第五中学校の歴史を振り返りました。ご寄稿に感謝いたします。

参加者の声

- 焼きそば、盛り上がりです。チャレンジのお手伝いが嬉しいわ。(青少年育成部 鈴木君枝さん)
- 面打の工程を展示しました。伝統文化を学び、楽しんでいきます。(若桐面遊会 中島保男さん・高丸千明さん)
- マジック面白いね。(中神立 林山さん・将万くん3歳)